

2020 年度第 2 回 知床世界自然遺産地域科学委員会  
適正利用・エコツーリズムワーキンググループ  
【議事要点版】

日時：2021（令和 3）年 2 月 1 日（月） 10：30～12：30

場所：小清水町多目的研修集会施設（愛ホール）

1. 長期モニタリング計画の評価項目の評価について

- 評価項目Ⅶ「レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること」については、エコツーWGから資料 1 の案で科学委員会に提出することとする。
- 資料 1 の評価シートにおける「総評」のコメント欄については、次期評価の際は評価項目である「レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること」に即した記述とする。

2. 知床国立公園の利用状況調査について

- 調査手法の見直しについては、体験型の利用や新たな利用といった利用形態の変化を把握することの重要性に留意して進める。
- 調査の見直しについては、来年度 2021 年度のとりまとめから反映させる。五湖・カムイワッカ部分については、個別の部会があるため、調整を行う。
- 調査結果のまとめについては、フォーマットを見直して見やすく整理する工夫が必要。生データの整理、管理、蓄積、公開方法は次回に方針を示す。
- モニタリングは、トレンドを重視する観点から、一貫した項目、標準化された手法を用いることが基本。調査手法や集計方法、補正等の手順を併せて記録する。
- 利用の量と質、環境影響と管理努力の 3 要素から評価を行い、遺産管理に繋げる枠組みであることを確認。なお、評価については、長期モニタリング計画の取りまとめに係る定期的な総括と WG による短期的な評価を並行して行う。短期の検討は、年次の第 2 回 WG の定例的な議題とする。

3. その他

(1) 長期モニタリング項目 No. 19, 20 2020 年度調査結果報告について

- モニタリング項目 No.19,20 について 2020 年度調査結果を報告。

(2) 今後の自然公園制度のあり方について

- 自然公園制度について、見直しに係る動向について報告。